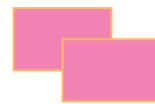


コマ撮りアニメ



物語を考えながら、一枚一枚カメラで撮影。チームを組んでオリジナルのアニメーション作りに挑戦しよう。デジタルなので完成作品のWEB公開も可能、いろんな人に見てもらえます。子どもたちは楽しみながらアニメーションの仕組みを理解でき、メディアリテラシー育成の観点からも魅力的なワークショップです。

1. 準備しよう

■コマ撮りアニメには次の物がが必要です。

- ・コマ撮りアニメ用ソフト※1
- ・ビデオカメラ※2
- ・三脚
- ・パソコン
- ・色画用紙
- ・フレームとなる紙と台紙

※1 コマ撮りアニメに使えるソフトウェアはいくつかあります。使い勝手の良いのはCLAY TOWN (CELSYS社)のような専用ソフトですが、Final Cut Express等ビデオ編集ソフトのストップ・モーション撮影機能を利用することも可能です。なおフリーソフトもありますが、自己責任での使用が前提となります。

※2 ビデオカメラはハンディカムやウェブカメラ等パソコンと接続ができるものであれば利用可能ですが、詳しくは使用するソフトウェアの説明書をご参照ください。

■事前の準備。

- ・アニメーションさせる素材となる色画用紙を丸や三角、四角に切り出します。次にアニメーションを展開させる場所となる台紙を準備し、その大きさに合わせてフレームを作成します。
- ・予めパソコンにソフトウェアをインストールして動作確認をします。1秒あたりのコマ数を15コマ程度に設定します。その際、見本となる作品も作成しておきましょう。

2. やってみよう (カギ括弧内は司会者が話すべき内容)

1. はじめの挨拶

「みんなでアニメを作ってみよう。」

2. 見本作品の鑑賞

「どうやって作ったと思いますか？」

3. コマ撮りについて説明

「一枚一枚写真をとります。」「何枚くらい写真を撮ったと思いますか？」

「ちょっと動かしては写真を撮る、またちょっと動かしては写真を撮るということを繰り返します。」

4. 注意事項

「あまり動かしすぎると上手くできません。」

「ちょっとずつ動かしましょう。」

☆スタッフ：人数に応じて4, 5人のグループを形成させる。

5. 作業開始

「ではまず用意した色画用紙を使ってアニメを作りましょう。」

「まずはストーリーを考えよう。」

(適宜「みんなの手も使ってみよう。」)

☆スタッフ：撮影を担当するのが望ましい。

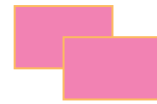
6. 作業終了

☆スタッフ：制作データを保存する。

7. 鑑賞会&感想発表

「やってみてどうだった?」「思った通りにできてたかな?」「どんなことが難しかった?」

コマ撮リアニメ



3. 注意しよう

- ・撮影を始める前に、きちんと保存される状態になっているかを確認する。

事前の動作確認はもちろん、作業に入る前にも正しく設定されているかもう一度確認しましょう。

- ・1コマ毎に素材を動かしすぎないようにする。

1コマ毎に素材を動かしすぎると、なめらかな動きに見えません。

1秒あたり15コマを意識して作成しましょう。

- ・「失敗した」と思うコマがあった場合、すぐに修正する。

使用するソフトウェアによっては後から修正するのが困難な場合があります。

失敗したと感じるコマがあったら、そのとき修正するように指導しましょう。

- ・事前に大まかなストーリーを考える時間を与える。

意見がまとまらないうちに予定した時間内に作業を終わらせられない可能性があります。

事前に決めたストーリーに沿って作業を進めるほうが効率がよいと思われます。

- ・スタッフの人数は参加者に対応させる。

形成するグループ（4、5人）に対し、少なくとも1人のスタッフがつくようにしましょう。

その際、スタッフは機器の操作方法に対する質問に答えるなど、参加者が自分のアイデアを実現するための手助けに徹します。

4. コマ撮リアニメの応用プログラム

コマ撮リアニメは自由度の高いプログラムです。様々な応用が考えられます。参考までに2例紹介します。

- ・画用紙に直接マジックや色鉛筆で形を描こう。

1. 最初に画用紙に思い思いの線を引く。（マスができるように）

2. 出来上がったマスを一コマ毎に好きな色に塗っていく。

- ・校庭や体育館で全身を使ったコマ撮リアニメに挑戦。

1. カメラを高い位置にセットする。

2. みんなで自由にちょっとずつ動いてみる。